



本事業は、SDGs の「17 パートナースhipで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025 年 5 月 9 日（金）
愛知県政策企画局国際課
渉外・交流グループ
担当 上窪、福森
内線 2256、2446
ダイヤルイン 052-954-6181

知事の中東渡航中の行事結果について

2025 年 5 月 8 日（木）、知事はトルコ共和国・サカリヤにおいて、欧州向けのカローラや CH-R の生産拠点であるトヨタ・モーター・マニュファクチャリング・トルキエ（TMMT）を訪問しました。

トヨタ・モーター・マニュファクチャリング・トルキエ（TMMT）訪問

（1）日時

2025 年 5 月 8 日（木）午前 11 時 30 分から午後 3 時 15 分まで
（日本時間 5 月 8 日（木）午後 5 時 30 分から午後 9 時 15 分まで）

（2）場所

トヨタ・モーター・マニュファクチャリング・トルキエ（TMMT）（サカリヤ）

（3）応対者

エルドアン・シャヒン社長兼 CEO、鈴木高德^{すずきたかのり}上級副社長 他

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、1990 年に設立（1994 年生産開始）され、欧州向けのカローラや CH-R の生産拠点であるトヨタ・モーター・マニュファクチャリング・トルキエ（TMMT）を訪問しました。

まず、大村知事は、TMMT の事業概要やトルコの自動車産業の概況について説明を受けました。その中で、TMMT の社会貢献活動として、TMMT の工場見学に来た企業に対して社会的に恵まれない人々に対する寄附への賛同を求める活動、女性による農業に対する支援活動及び大規模地震に対する災害支援等について、また、環境保全活動として、2030 年までにカーボン・ニュートラルを実現する目標について紹介がありました。さらに、TMMT では、従業員が働きやすい環境作りのために、製造工程においてロボットの使用により作業の自動化を推し進める“Do it ourself”の取組を行っていることについて説明がありました。その後、TMMT の生産シフトや生産車のトルコ国内及び欧州での販売比率、災害支援の具体的な内容等について、意見交換が行われました。

続いて、昼食を挟み、大村知事は、工場を視察しました。大村知事は、広大な工場を見学用カートで移動し、プレス、溶接、塗装、組立、検査の工程を見学しました。その中で、鈴木上級副社長から、小物を製造する作業を自社で溶接し改造したロボットを使用して行ったり、重い荷物をロボットが運ぶ作業を行ったりと、“Do it ourself”

の取組を実践する現場の紹介がありました。また、移動している車体にロボットが窓ガラスを取り付ける様子を視察し、鈴木上級副社長から、世界でこれまでにない初の取組であるとの紹介がありました。工場視察の後、大村知事は、同工場にて完成された CH-R に試乗しました。

最後に、大村知事は、シャヒン社長と意見交換を行いました。大村知事から、「TMMT の生産開始から 31 年間で、生産能力と欧州への輸出を拡大させていることを素晴らしいと思う。3 直 6 日の生産シフトにて効率よく工場を運営されていることが分かった。トルコで一番の企業を目指して頑張っていたきたい。TMMT の皆さんの活動が、トルコの経済と雇用に貢献していることを誇りに思う。TMMT がトルコで尽力されているおかげもあり、2019 年に在名古屋トルコ総領事館の開設に至った。TMMT の活動のおかげで、愛知県とトルコ、ひいては日本とトルコの縁が一層深まることを大変嬉しく思う。現に愛知県におけるトルコ人の在住者数は増加している。TMMT の今後の一層の発展を期待する。」と発言しました。これに対して、シャヒン社長から、「大村知事は、これまで TMMT を訪問した最高位の要人であり、光栄に思う。TMMT の工場は世界で 5 本の指に入る工場であると自負している。愛知県に在住するトルコ人の中には、TMMT から堤工場に派遣されている私たちの仲間も含まれており、多くの経験を積んでくことを期待している。」との発言があり、意見交換を締めくくりました。

<トヨタ・モーター・マニュファクチャリング・トルキエ (TMMT) 概要>

(1) 所在地 トルコ共和国 サカリヤ

(2) 設 立 1990 年 (1994 年生産開始)

(3) 事業概要

- ・当初、トルコのサバンズ財閥との合弁会社 (トヨタ・サバンズ・モーター・マニュファクチャリング・ターキー(株)) として設立。2000 年 10 月、現在の TMMT に名称変更。
- ・年間 28 万 5 千台の生産能力を有し、2024 年は年間約 23 万台を生産。
- ・2023 年 11 月、総額約 3 億ユーロの新規生産投資を行い、小型クロスオーバー車の新型トヨタ「C-HR (Toyota C-HR)」及び欧州初のプラグイン・ハイブリッド・バッテリーの生産を開始した。



視察の様子①



視察の様子②



視察の様子③



試乗車との記念撮影



意見交換の様子



シャヒン社長との記念撮影



TMMT の皆さんとの記念撮影
(左から 4 人目がシャヒン社長、
右から 2 人目が鈴木上級副社長)



TMMT の皆さんとの記念撮影
(左から 3 人目がシャヒン社長、
右から 4 人目が鈴木上級副社長)